

次世代多目的コホート研究における緑内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症
の眼科疾患のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究に
参加された方のデータを用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 眼科 職名 専任講師
氏名 結城 賢弥
連絡先電話番号 0353633821

次世代多目的コホート研究における緑内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症の眼科疾患のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究には、現在慶應義塾大学眼科学教室、国立がん研究センターが参加しております。この度、共同研究期間に東京大学医学部眼科学教室ならびに東京大学大学院情報理工学系研究科が、追加の解析を目的として、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、追加されました。今後も倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

長野県佐久地域における次世代多目的コホート研究における緑内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症の眼科疾患のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究に参加した方。

2 研究課題名

承認番号 20110335

研究課題名 次世代多目的コホート研究における緑内障、加齢黄斑変性、糖尿病網膜症の眼科疾患のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部眼科学教室

共同研究機関

独立行政法人国立がん研究センターがん予防・検診研究センター 津金昌一郎 (センター長)

慶應義塾大学医学部眼科学教室

東京大学医学部眼科学教室

研究責任者

結城 賢弥 (専任講師)

朝岡 亮 (特任講師)

4 本研究の意義、目的、方法

加齢黄斑変性、緑内障、糖尿病網膜症はいずれも、中高齢者における失明の重要な疾患であり、中高年者の生活の質 (QOL) の低下に大きく関わっている疾患である。しかし少なくとも本邦ではまだ、それら疾患のリスク要因解明を目的とした大規模かつ妥当性の高い疫学研究は実施されておらず、標記疾患の一次予防方法に関するエビデンスは未確立である。

長野県佐久地域での住民健診において眼科検診を実施し、加齢黄斑変性、緑内障、糖尿病網膜症といった眼科疾患症例を早期発見するとともに、これらの疾患と、健診情報、生活習慣情報、栄養摂取情報等の曝露要因との関連をコホート研究により検討することにより、両疾患のリスク要因と一次予防対策に資する情報を明らかにする。

5 協力をお願いする内容

新たに共同研究機関として東京大学医学部眼科学教室ならびに東京大学大学院情報理工学系研究科が共同研究機関として追加されました。すでに同意の元に提供された眼のデータ、検診結果、生活習慣に関するアンケート結果はこれらの共同研究機関にも提供され、解析が行われます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日 ~ 西暦 2022 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

眼底検査、OCT 検査によって収集される個人情報・健診情報、追跡調査によって収集された死亡・住所・異動・生活習慣などの個人情報については、研究代表者である国立がんセンターに集められる。それらの情報は、国立がんセンターで対応表のある匿名化を行い、疫学研究に関する倫理指針に従って、コホート研究対象者に危険・不利益が及ばないように厳重に管理する。本調査の個人情報および個人情報と匿名化番号の対応表は、研究代表者である国立がんセンターで管理する。解析する際は、個人情報が削除された対応表のある匿名化されたデータを用いる。慶應義塾大学、東京大学の研究員は匿名化されたデータのみを所有し、個人識別可能なデータを有さない。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人 (ご本人より本研究に関する委任を受けた方など) よりデータの利用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

郵便番号 160-8582 東京都新宿区信濃町 3 5 慶應義塾大学医学部眼科学教室

専任講師 結城 賢弥 電話番号 03-5363-3821

以上